

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書  
 市町村名 枚方市  
 実践研究校名 招提北中学校

【公開授業】公開日：平成25年9月13日  
 対象学年：第3学年

<p>(教材・教科書名) New Horizon (東京書籍)</p> <p>(単元名) Speaking Plus 2 食事の会話</p>	<p>(本時の指導の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いを恐れず積極的に英語で言語活動に取り組む。</li> <li>・英語を用いて友達に自分の好きな料理や飲料をすすめる。また、すすめられたものに対し、相手の気持ちや会話の流れを踏まえた上で、自分なりのコメントや理由を添えて受け答えすることができる。</li> </ul>
--	--

(本時の授業において工夫した点)

- ・基本ダイアログを飽きずにくり返し練習させるために5種類の音読方法を活用した。
- ・多様な飲食物の名前を短時間で確認するためにパワーポイントを活用した。
- ・まとまりのある会話を意識させるための表現を授業を通して細かく指導した。

(授業を終えた教員の感想)

- ・どちらかというと、大人しい生徒の多いクラスなので、どれだけ積極的、主体的な活動が出来るかということに力を入れて指導したが、まだ不十分な面があったと感じている。
- ・臨機応変に、英語によるまとまりのある会話が出来ると生徒の育成に向けて、今後とも指導方法の工夫をしていきたい。

【研究協議会】

<p>(テーマ)</p> <p>「まとまりのある英語会話をめざした英語活動について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が間違いを恐れず、積極的に英語による言語活動に取り組むことができていたか。そのためにどんな工夫が出来るか。</li> <li>・生徒は意欲的に音読に取り組めていたか。そのためにどんな工夫ができるか。</li> <li>・生徒は「言っぱなし、聞きっぱなし」にならないまとまりのある会話が出来ていたか。そのためにどんな工夫ができるか。</li> </ul>	<p>(指導・助言者)</p> <p>関西外国語大学 教授 並松 善秋 氏</p>
---	---

(研究協議会で出された意見)

- ・生徒は積極的に、英語による言語活動に取り組んでいた。
- ・授業のメリハリ、テンポが良く、生徒を飽きさせない工夫が随所にされていた。
- ・生徒が間違いを恐れず、安心して発表できるような学習集団作りができていた。
- ・日頃の授業や小中連携の取り組みの成果があらわれている授業だと感じた。

(まとめ)

1. 教師主導型でありながら、生徒の活動が中心となっていて、非常に良かった。
2. 教師の指示が短く適切で、リズミカルな活動ができていた。
3. 「英語の音声 that 充満する」のが英語の授業であり、そのなかで生徒の頭の中に自然と英語が残っていく、そのような授業を今後もつくり出していく必要がある。